

I. 利用状況 (2021年4月～12月末)

1. 団体登録・ボランティア募集件数

※新型コロナウイルス感染症により 2020 年度のデータがないため () 内は 2019 年同時期の数としております。

(1) 登録団体数

登録団体総数	157 (189)
新規登録	4 (44)
既存登録	153 (145)

(2) 登録団体によるボランティア募集件数

ボランティア募集件数	38 (149)
------------	----------

ボランティア募集の他に、ポスター掲示、チラシ配布依頼多数

(3) 領域別ボランティア募集件数

領域	総数
教育	13 (38)
福祉	12 (42)
環境	5 (21)
地域・災害	4 (10)
国際	2 (16)
その他 ※	2 (9)
文化・スポーツ	0 (13)
合計	38 (149)

「ボランティア情報シート」に記載したもののみの件数。募集のチラシ等の配架のみの依頼は含まれていない (しょうがい者支援や学習支援などの依頼がある)。

※非行少年支援ボランティア、犯罪被害者支援ボランティアなどが含まれている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの募集件数は著しく減少したが福祉系ボランティアや学習支援などの教育系ボランティアはコロナ禍でも社会的需要が高かった。

2. 登録団体からのご意見

(2022年1月実施、団体向けアンケートより抜粋)

※今年度は全団体ではなく、参加者数が多い団体に限定して実施。

コミュニティ福祉学部の4年生が1名、週に2回昨年から来ている。非常に物静かだが、次第に子どもたちとうまく関われるようになってきた。困っていることなどは全くない。他大学の学生も数名ボランティアで来ているが、3・4年生なので、ぜひ1・2年生に来てほしい。

ボランティアサークルの学生とのオンラインでの交流・おもちゃの寄贈があった。

現在、立教生は55名活動に参加している。コロナ禍ということもあるが、昨年よりは多い。立教サービスラーニング(RSL)科目で参加した学生が、引き続きボランティアとして来てくれるケースも多い。また、授業経由で活動に関心をもって始める学生もいた。みな、子どもたちと積極的に関わり楽しそうに活動をしている印象である。改善点・困っている点などは特にない。

集会場で子ども達の見守りをするボランティアであったが、子どもと積極的に関わってくれてとても助かっている。

半年間講座に参加した学生が1名いるが、課題にも積極的に取り組み優秀であった。

私たちにはない視点で子どもたちと関わってくれることが、本当にありがたいと思っている。感謝しかありません。

新型コロナウイルスの影響により、今年度はボランティア紹介があまりできなかったが、登録団体との関係性が途絶えぬように、今後もコミュニケーションを密に取りながら丁寧に関係性を築いていきたい。また、学生のボランティア意欲を継続できるように、一人ひとりの学生から丁寧にヒアリングをし、その学生に合ったアドバイスや対応をしていくことが重要である。

3. センター利用

※新型コロナウイルス感染症により 2020 年度のデータがないため()内は 2019 年同時期の数としております。

(1) センター来所者

来所者数	519 (3,081)
池袋	361 (1,933)
新座	158 (1,148)

情報収集、相談・面談・打ち合わせ等でセンターを利用する学生の総数。なお、立教サービスラーニング (RSL) センター利用者等も含まれている。減少理由は新型コロナウイルスによるオンライン授業への切り替えや入構制限と考えられる。

(2) 相談票記入者

利用登録者数	91 (651)
男	20 (148)
女	71 (503)

ボランティアセンター来所者の内、相談票を記入した人数。また、入構制限によりキャンパスに来られない学生には、ZOOM によるオンライン面談も実施した。

(3) メールマガジン・SNS 登録者

メールマガジン登録者数	3,948 (3,442)
新規登録	93 (288)
Twitter フォロワー数	2,624 (2,062)
Instagram フォロワー数	203 (76)

メールマガジンは、原則月 2 回定期的に発行している。コーディネーターのコラムやボラカフェの様子、最新のボランティア情報などを載せている。また、より多くの情報を届けるために、学生がよく利用する Twitter と Instagram でも情報を頻繁に発信している。

(4) センター利用動機ランキング (複数)

1	情報収集	68 (266)
2	相談 (個人・国内)	37 (244)
3	ボランティア情報複写希望	15 (181)
4	相談 (個人・海外)	5 (74)

センター利用動機の 1 位は、「情報収集」であり、特に子どもに関わる学習支援などの教育系分野のボランティア情報を探しにくる学生が多く見られた。

(5) 学部別相談票記入状況 (小数点第一位を四捨五入)

	学部	件数	単純増減数	全体比 (%)
新座	コミュニティ福祉学部	19 (159)	-140	21 (24)
池袋	文学部	19 (146)	-127	21 (22)
池袋	法学部	13 (50)	-37	14 (8)
池袋	社会学部	11 (76)	-65	12 (12)
新座	観光学部	8 (65)	-57	9 (10)
池袋	経済学部	6 (51)	-45	7 (8)
池袋	異文化コミュニケーション学部	4 (15)	-11	4 (2)
池・新	その他 (大学院・研究生)	4 (9)	-5	4 (1)
新座	現代心理学部	3 (45)	-42	3 (7)
池袋	GLAP	2 (0)	2	2 (-)
池袋	経営学部	1 (18)	-17	1 (3)
池袋	理学部	1 (17)	-16	1 (3)
	総計	91 (651)	-560	

相談票記入者を学部別に集計した結果である。2019 年度同様、コミュニティ福祉学部、文学部の学生が多く相談に来ている。人数が減少した理由としては (1) のコメントを参照のこと。

(6) 参加希望が多かったボランティア団体

団体	分野
東京都観光ボランティア事務局	国際
NPO 団体 カフェ塾テラコヤ	教育
新座市教育委員会生涯学習スポーツ課	教育
一般社団法人彩の国子ども・若者支援ネットワーク	教育
野外教育事業所 ワンパク大学	環境

例年はランキング形式だが、新型コロナウイルス感染症により紹介件数が少なかったため、今回はランキング形式にはしていない。